学校だより
# 三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

## もはや暖冬ではなく異常気象

今週（火）～（水）、当初は大雪注意報が出ていましたが、雪は少しだけ降って、あとは季節外れの大雨になりました。

全国を考えれば安登下校の大雪よりよかったのでしょうが、ここまで来ると、一時的な異暖冬ではなく、地球温暖化によるものでしょう。

異常気象と言わざるを得ません。

白河の南湖は、ここ数年ほとんど凍らなくなりました。

子どもの頃は冬になると「スケート禁止」の看板が立っていましたが、校長先生が子どもの頃は、普通に湖面で子どもたちがスケートをしていたそうです。

氷の上を歩くなんて危険だからやめなさい、と祖父母の頃は、なんてアドバイスをしてくれたそうです。

試合までの異常気象が自然や農業、私たちの健康に影響を及ぼすのか心配です。

一方で、これからでも突然大雪になったり、寒波がやってきたりする可能性もあり、春まで油断ができません。

## 今年も いい予感！

1月30日（木）、大信商工会女性部の佐藤真理子さん、塩田明美さん、塩田澄世さんが来校され、毎年恒例の「伊予柑」の贈呈式が行われました。

この催しは、大信商工会女性部が十九年前から、大信中学校の受験生に希望する進路に合格できるようにと呂合わせで、「伊予柑＝いい予感」の語呂合わせで、３年生全員に伊予柑をプレゼントしてくださっています。

しかも伊予柑は一つ一つ

伊予柑を受け取った３年生の学級委員長たち

ダンナが丁寧に包んでくれた温かい気持ちが伝わってきます。

本当にありがとうございます。

諸君、実感してください。

予感が変わる頑張ってください。

## 表彰おめでとう

☆ふくしまっ子ごはんコンテスト
学校賞　大信中学校

☆白河地区1年生バレーボール大会
第3位（大信・梟崎・西郷二中合同チーム）
北野修果、吉川マリン

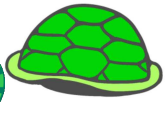
## 校長のつぶやき

先日、宮崎市の学校で、障がいのある子が、周囲の子にいじめられ、転校せざるを得なかったというニュースがあり、今でもそんないじめがあるのかと耳を疑いました。

なぜ、いじめは起きるのでしょう。

### 「ドラえもん」に、「動物型逃げ出し錠」という

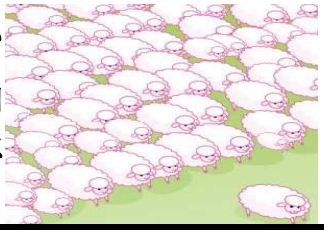
お話があります。ジャイアンにいじめられたのび太がドラえもんに出してもらった薬で、これを飲むとカメレオンのように保護色で身を隠したり、亀の甲羅のように身体が固くなって敵の攻撃を防御したり、トカゲのように身体（実際には衣服）の一部を相手に与えてその間に逃げたり、スカンクのように臭いおならで相手を撃退できる優れ物です。



原作ではスネ夫が奪ってジャイアンを喜ばすのですが、逃げてしまうというお話です。

さて、これらの動物のような特殊能力のある者はいるのでしょうか。

それがない動物はどうすればいいのでしょう。例えば肉食獣に襲われた草食動物はどうするでしょう。



戦って勝てる相手では逃げるしかありません。

ピードが違いますし、圧倒的にスピードが違います。

この場合、残念ながら群れの中で襲撃に気づくのが遅くかったり、足が遅かったりした一頭が肉食獣に捕まっている間に、その他の者はひたすら逃げるしかありません。

なぜ仲間を助けようとしないのか。それは、そんなことをしたら、自分も食べられてしまいかねないからです。

これを学校生活に置き換えてみたらどうでしょうか。いじめという「肉食獣」に、クラスで一番弱い仲間が襲われそうになったらどうするでしょう。自分がいじめられないよう、見捨ててしまってもよいのでしょうか。

少なくとも「あったか大信中」の皆さんは、草食動物の群れとは全く違います。皆さんなら、一番弱い仲間を見捨てて自分たちだけ身を守ろうということにはならないと信じています。

また、そもそもそんな「肉食獣」は大信中にはいません。ただし、いじめているつもりはなくても、ちょっとしたことで人をからかったりしていることが、相手を傷つけているとは言えません。気づかないうちに自分が「肉食獣」になっていないかということにも気をつけたいものですね。